

# おあしす

ICARDA (International Center for Agricultural Research in the Dry Areas) とヨルダン国立農業研究センター (NARC) がヨルダンの Majidyya 集水域において実施している、「マイクロウォーターハーベスティングによる荒廃農牧業流域のリハビリテーション」プロジェクトの活動写真を寄稿いただきましたので、ここに紹介します。詳細は次の Web サイトをご覧ください。

<https://www.icarda.org/research/innovations/strengthening-resilience-rangeland-watersheds-jordan>

2016 Winter



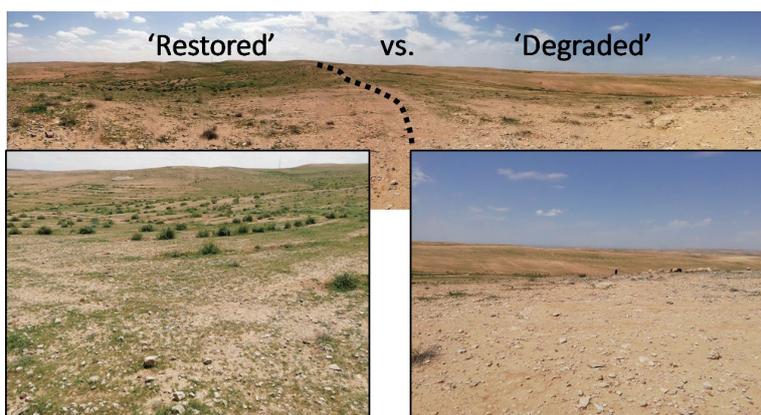
Micro water harvesting pits developed by the 'Vallerani' tractor plow in the Majidyya watershed

2017 Fall



Water harvesting based barley agriculture through upgraded indigenous 'Marab' technology in the watershed's lowland

2019 Spring



Overview over the Majidyya watershed from a hilltop and comparison of the 'restored' and the 'degraded' twin watersheds in spring from hilltop view.

2019 Spring



Restored upland watershed's native shrubs and vegetation in spring.

2019 Fall



Upland watershed grazing activity in the restored watershed at the end of the dry season.

2019 Spring



Lowland barley agriculture in the Marab.

# 日本沙漠学会第 32 回学術大会報告

日本沙漠学会第 32 回学術大会が 2021 年 5 月 29 日（土）～30 日（日）にオンラインにて開催された。

## 第 32 回学術大会

【日程】 2021 年 5 月 29 日（土）～30 日（日）  
 【場所】 Web ミーティング会議（Zoom ミーティング）

### 【プログラム】

5 月 29 日  
 ショートプレゼンテーション  
 研究発表会  
 懇談会  
 5 月 30 日  
 総会

【要旨 PDF ファイル】 <https://www.jaals.net/> 大会 - シンポジウム /2021- 大会 - シンポジウム / 学術大会の概要

当初は北海道（酪農学園大学）での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響下で対面での開催は困難であると判断し、今年度はオンラインでの学術大会実施と決定した。学会企画担当理事・総務担当理事を中心に実行委員会を組織した（大会委員長・小長谷有紀理事）。

例年であれば、一般聴衆の参加も可能な公開シンポジウムや学会後のエクスカージョンも予定されるが、発表（5 月 29 日）と総会（30 日）のみに絞った極めてシンプルな大会となった。本大会は遠隔会議システムである Zoom を使って行われた。例年行っているポスター発表については、プレゼンテーション時間を絞り、事前に Google ドライブにてポスターを掲示してコメント機能で質疑応答・議論を行うと共に、大会当日に口頭でのショートプレゼンテーションを併用する形式に変更した（図 1）。本年 9 月に第 4 回沙漠国際会議／第 14 回国際沙漠技術会議（ICAL IV /



図 1 Google ドライブによるポスターの掲示（左）と質疑応答（右）（ベストポスター賞を受賞した山本真希会員のポスター）

DT XIV) を控えていることもあり、発表件数は例年の半分程度にあたる口頭発表 8 件、ポスター発表 6 件であった。研究対象地は多い順に、日本国内での解析や模擬実験 4 件、ジブチ 3 件、パレスチナ 1 件、カザフスタン 1 件、モンゴル 1 件、エジプト 1 件、ニジェール 1 件、その他場所を特定しないもの 2 件であった。内容は、例年通り自然科学から人文社会科学まで幅広いテーマを対象としながら、新型コロナ禍で現地訪問もままならない現状でシミュレーションやモデルを使って解析を行うなど工夫した研究が多い印象を受けた。ショートプレゼンテーションは事前にポスターを閲覧できたこともあり、多くの質問が書き込まれた。口頭発表も時間に余裕があったことから質疑応答に 10 分間割いたため活発な質疑が行われた。

参加者は 79 人とオンラインにもかかわらず例年並みの参加人数であった。

30 日に行われた総会は、インターネットによる委任状回収が進まず、前日まで成立が危ぶまれたが、前日のメーリングリストによる委任状提出のリマインドが功を奏して無事定足数を満たし、議事が成立した。とくに議論が紛糾することはなく、スムーズに議事が成立した。次回（第 33 回、2022 年度）学術大会は、新型コロナウイルスの感染が沈静化すれば北海道（実行委員長：星野仏方会員）での開催を予定している。

### 学会賞

2020 年度日本沙漠学会賞・論文賞・奨励賞は、該当者がおらず表彰・受賞講演ともに見送られた。学会として学会賞が出せないのは学会活動の活性度の面からも大変問題であり、学会員諸氏からの積極的な応募・推薦をよろしく願いたい。

### ベストポスター賞

ベストポスター賞は、理系分野で橋本裕紀会員ら「北海道の草地における光学-SAR 衛星データ複合利用による地上バイオマスの推定」、複合分野で山本真希会員ら「パレスチナ刺繍の歴史とパレスチナ自治区における現状」が選ばれた。特に山本会員の発表は、理系、複合系分野両方の審査員より高い評価を得た。

### 研究懇談会

例年行われている懇親会に代わり、Zoom ブレイクアウトルームを使用した研究懇談会を企画・実施した。ブレイクアウトルーム機能は Zoom に追加装備された機能で、学術大会のメインの部屋から小部屋に移り、小部屋内で歓談するという使い方で、立食パーティの各テーブルに当たるようなものである。とくにテーマを分けずに 3 つの部屋を用意し、各自に自由に移動してもらう形式とした。事前に Zoom システムのバージョンアップのアナウンスが不十分だったため、そもそもブレイクアウトルームに移れなかった人もいた。通常の懇親会であればある程度お腹が満たされるまでは会場にとどまるものであるが、話題に興味を持たずすぐに退室してしまう参加者が多く、開始早々参加者

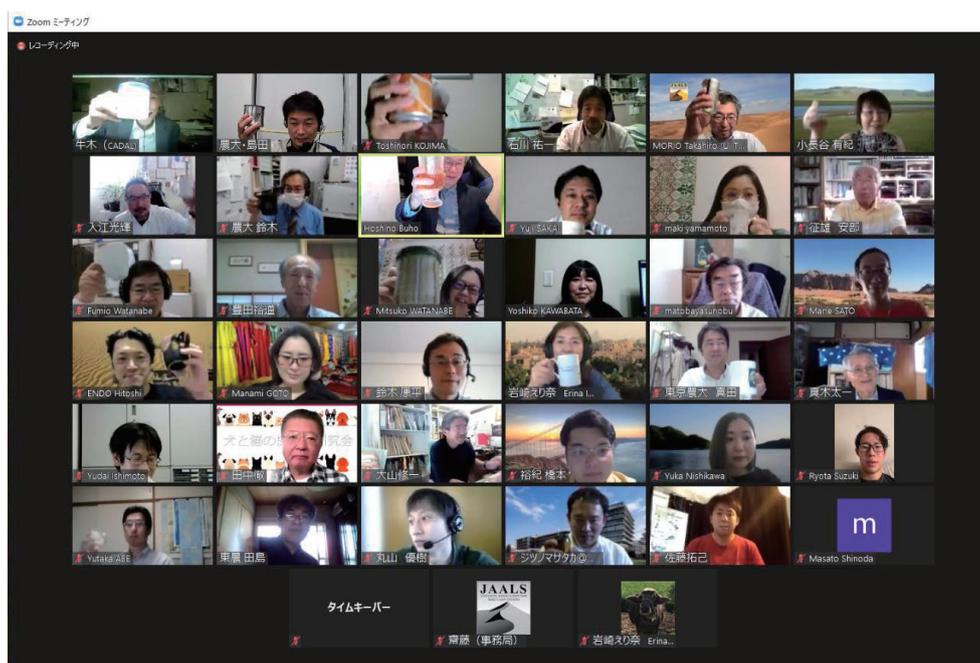


図 2 オンラインでの乾杯！

が半分以下となった。とくに通常の懇親会であれば普通にあり得る、偶然隣り合った会員同士で自己紹介するという場がなく、手持ち無沙汰の参加者が早々に退室してしまうのはやむを得ない。対策としては、「初参加者の部屋」「学生会員の部屋」「DT XIV の情報交換」など各部屋に大まかなテーマを設定し、顔の広い会員が管理人役として常駐するなど、参加している実感を共有できる工夫が必要であろう。

【第 32 回日本沙漠学会学術大会実行委員会 石川祐一】

\*\*\*\*\*

【ベストポスター賞受賞者のコメント】

この度、ベストポスター賞を受賞できたことを大変うれしく思います。今回の内容は私の修士論文の内容をまとめたもので、今回の学術大会で発表できたことは貴重な経験となりました。特に今回の発表に至るにあたりコロナ化の中、現地調査の相談や修士論文の指導をして頂いた東京農業大学・島田先生、関山先生、山崎先生に重ねて感謝申し上げます。今後も SAR 画像の利活用について引き続き学んでいきたいです。



株式会社パスコ・橋本裕紀

\*\*\*\*\*

このたび、ポスター賞を頂きまして、大変光栄に思っております。ご指導いただいた先生、発表にあたり貴重なご意見をいただいた先生方、そして一緒に活動を共にしてくれているパレスチナの女性たちに深く御礼を申し上げます。コロナ禍による制約はございますが、前向きに研究を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



東京農工大学大学院博士課程 2 年・山本真希

2021 年度日本沙漠学会総会報告

2021 年 5 月 30 日（日）10：00～、Zoom ミーティング会場において、総会が開催された。正・名誉会員数 211 名に対しオンライン出席者 30 名、委任状 77 名、合計 107 名で定足数（1/3 以上）を満たし総会が成立したことを確認した。総会の開催にあたり森尾会長から挨拶があり、入江会員を議長に選出し、承認の後、議事を進行した。島田総務担当理事より 2020 年度事業報告、続いて矢沢財務担当理事より決算報告、そして渡邊監事より会計監査報告が各々説明され、その後承認された。また、2021 年度事業計画（案）・予算（案）について島田理事および財務担当高橋理事から、それぞれ説明がなされ、承認された。また、牛木会員を名誉会員として推挙することが承認された。最後に第 32 回学術大会のベストポスター賞受賞者の紹介と、北村会員の欠員による評議員参画について報告がなされた。

## 日本沙漠学会 2021 年度総会記事（総務報告）

### ◇総会資料

#### 1. 2020 年度事業経過・決算・会計監査報告

##### (1) 2020 年度事業報告

##### 1) 会務報告

a. 会員 2021 年 3 月 31 日現在、会員数は以下の通り。

名誉会員：3 名

正会員：208 名（入会 7 名，退会 16 名）

学生会員：26 名（入会 2 名，退会 1 名）

賛助会員：4 社

購読会員：5 機関

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2020 年度総会

2020 年 5 月 18 日(月), 学会 Web サイトおよびメールを利用して開催した(質疑応答期間:5 月 18 日～5 月 29 日, 投票期間:6 月 1 日～6 月 5 日). 総会の概要を「おあしす」No. 110 (2020 年 6 月) に掲載した.

(b) 評議員会 (第 33 回)

2020 年 4 月 13 日(月)～4 月 17 日(金), メール会議を利用して開催した(採決期間:4 月 18 日～4 月 22 日). 議事概要を「おあしす」No. 110 (2020 年 6 月) に掲載した.

(c) 理事会

第 144～147 回理事会を開催した. 第 144 回議事録を「おあしす」No. 110(2020 年 6 月)に, 第 145 回議事録を「おあしす」No. 111 (2020 年 9 月)に, 第 146 回議事録を「おあしす」No. 112 (2020 年 12 月)に, 第 147 回議事録を「おあしす」No. 113 (2021 年 3 月)に各々掲載した.

(d) 編集委員会

沙漠研究 Vol. 30 NO. 1～Vol. 30 NO. 4 を編集し発行した.

2021 年 1 月 9 日(土), にて拡大編集委員会を Web 開催した. さらに E-mail によって委員会内における審議を行った.

(e) 学会賞審査委員会

2020 年度の学会賞審査委員会をメール審議で行った.

(f) 学会会員数減少への対策検討委員会

委員会内においてメールにより情報交換を行った.

##### 2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

Vol. 30 No. 1 (2020 年 6 月), Vol. 30 No. 2 (2020 年 9 月),

Vol. 30 No. 3 (2020 年 12 月), Vol. 30 No. 4 (2021 年 3 月)

※ J-STAGE による電子版の公開と年度末の合本号冊子の発行

b. ニュースレター「おあしす」

No. 110 (2020 年 6 月), No. 111 (2020 年 9 月)

No. 112 (2020 年 12 月), No. 113 (2021 年 3 月)

※ Web サイトでの電子版の公開

c. 日本沙漠学会講演要旨集

第 31 集 (第 31 回学術大会, 2020 年 5 月 26 日～5 月 27 日)

※ Web サイトでの電子版の公開

d. 学会ホームページによる情報提供

学会ホームページによる活動状況に関する情報提供を行った. 理事会, 分科会, シンポジウム, 関連学協会の催事等の開催案内と報告等をタイムリーに掲載し更新した.

### 3) 講演会及び研究会等の開催

#### a. 第 31 回学術大会

2020年5月26日(土)～5月27日(日), 新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み, 岡山大学で開催予定であった大会は中止した. 本学術大会で発表を予定していた講演については, 要旨集(PDF版)に掲載しその配布を以って発表されたものとして本学会での業績とした.

#### b. 2020年度秋季シンポジウム

2020年11月26日, 乾燥地農学分科会第29回講演会との合同開催とし, 「今, 沙漠環境はどうなっているの? ～拡大それとも改善? 気候変動は? サバクトビバッタは? 経済へのかかわりは?」のテーマで開催した.

#### c. その他

なし

### 4) 分科会等の活動

#### a. 沙漠工学分科会 (2021年3月31日現在, 登録者数: 147名)

会長: 田島 淳 (東京農業大学)

幹事: 鈴木伸治 (東京農業大学)

連絡先 (事務局): 〒 156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科

TEL: 03-5477-2351, FAX: 03-5477-2620

E-mail: s4suzuki@nodai.ac.jp

活動実績: 2021年2月に第33回講演会を行う予定であったが, 新型コロナウイルスの感染予防に伴い東京都で緊急事態宣言が発令されたため, 開催を見送った.

#### b. 乾燥地農学分科会 (2021年3月31日現在, 登録者数: 181名)

会長: 石川祐一 (秋田県立大学)

連絡先 (事務局): 〒 914-0041 東京都町田市玉川学園 8-3-23

(株) アースアンドヒューマンコーポレーション気付

FAX: 018-872-1677

E-mail: owner-cadal@ijinet.or.jp

活動実績: (1) 2020年11月26日, 第29回講演会「今, 沙漠環境はどうなっているの? ～拡大それとも改善? 気候変動は? サバクトビバッタは? 経済へのかかわりは?」のテーマで開催した. 話題提供者と演題は) 石川祐一 (秋田県立大学) 「本公演会の開催趣旨について」, 木村玲二 (鳥取大学) 「乾燥地の土地劣化の現状と監視」, 鬼頭昭雄 (気象業務支援センター) 「気候変動の現状と将来」, 田中誠二 (元蚕糸・昆虫農業技術研究所) 「サバクトビバッタの大発生と生態」, 浦嶋裕子 (MS&AD インシュアランスグループホールディングス) 「気候変動リスクに金融の世界はどう向き合っているか」である (以上, 敬称略). 30名の参加者を得た. (2) 学会ニューズレター「おあしす」内の記事として分科会機関紙「CADAL ニュース」第66号を掲載した. (3) 分科会の活動状況をさらに広く周知するための情報発信法として, 分科会 Web ページを学会ホームページ下に移設した. (4) メーリングリストを開設・運用している. 関連する講演会・シンポジウムの開催および参加者の情報提供等に利用されている.

#### c. 沙漠誌分科会 (2021年3月31日現在, 登録者数: 64名)

会長: 縄田浩志 (秋田大学国際資源学部)

連絡先 (事務局): 〒 010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号 (縄田研究室)

E-mail: sabakushi.c@gmail.com

活動実績: (1) 沙漠研究の特集論文として, 2018年10月開催の研究会「サウディアラビア, ワーディ・ファーマティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集を企画, 投稿・査読中.

#### d. 風送ダスト研究会 (2021年3月31日現在, 会員数: 12名)

会長: 黒崎泰典 (鳥取大学)

連絡先 (事務局): 〒 680-0001 鳥取市浜坂 1390

鳥取大学 乾燥地研究センター

TEL: 0857-21-7032, FAX: 0857-29-6199

## 5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

- a. Desert Technology XIV / International Conference on Arid Land (2020年9月8日～9月11日)を延期した。  
 b. 日本地球惑星科学連合での活動。  
 c. 地理学連携機構・地理関連学会連合への協力。

## (2) 2020年度決算報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

	費目	決算額	予算額	対予算額増減	備考
収入の部	繰越金	5,901,124	5,901,124		
	会費	1,820,000	2,221,000	-401,000	
	1) 入会金	9,000	10,000	-1,000	正会員7名 学生会員2名
	2) 正会員費	1,456,000	1,736,000	-280,000	129名 + 過年度前受53名 (2020年度納入実数187名)
	3) 学生会員費	25,000	125,000	-100,000	5名
	4) 購読会員費	30,000	50,000	-20,000	3件
	5) 賛助会員費	300,000	300,000	0	4社 + (過年度分2社)
	その他収入	1,436,903	370,000	1,066,903	
	1) 出版費	282,000	360,000	-78,000	砂漠学事典印刷98,912円 第31回学術大会戻し金 200,000円 DT13特別号立替返金843,480円 バック ナンバー12,500円 利息11円
	2) その他	1,154,903	10,000	1,144,903	
(小計)	3,256,903	2,591,000	665,903		
合計	9,158,027	8,492,124	665,903		
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合年会費
	学会誌発行費	1,360,258	1,425,000	-64,742	
	1) 印刷費	1,340,350	1,400,000	-59,650	Vol. 29(3)-Vol. 29(4)の各データ作成・発行費 Vol. 30(1)-Vol. 30(4)のデータ作成費
	2) 発送費	19,908	25,000	-5,092	振込手数料・メール便
	活動準備金	277,360	305,000	-27,640	
	1) 大会預託金	52,360	0	52,360	第31回学術大会千種集作成費
	2) シンポジウム預託金	100,000	100,000	0	秋季シンポジウム
	3) 分科会交付金	125,000	205,000	-80,000	分科会(乾燥地農学)
	表彰費	0	20,000	-20,000	
	会議費	0	12,000	-12,000	理事会会場費
	事務運営費	67,288	500,000	-432,712	
	1) 通信・郵送費	29,504	100,000	-70,496	振込手数料 会費請求等郵送代
	2) 印刷費	0	100,000	-100,000	総会・会議資料 選挙関連印刷発送費
	3) 事務費	16,554	50,000	-33,446	消耗品費等
	4) 交通費	0	200,000	-200,000	
	5) 諸雑費	21,230	50,000	-28,770	
	学会業務等外部委託費	508,200	498,960	9,240	定額462,000円 + 消費税(8%から10%)
30年記念事業準備金	0	0	0		
予備費	0	100,000	-100,000		
(小計)	2,223,106	2,870,960	-647,854		
次年度繰越金	6,934,921	5,621,164	1,313,757		
合計	9,158,027	8,492,124	665,903		

## (3) 貸借対照表および監査報告

## 貸借対照表

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
郵便振込口座	5,586,158	借入金	0
三菱UFJ銀行	1,295,209	次期繰越金	6,934,921
現金	53,554		
合計	6,934,921	合計	6,934,921

## 会計監査報告

日本沙漠学会2020年度会計報告に基づき、帳簿・帳票類を監査したところ、適正に運営されたことを確認いたしました。

2021年4月3日

日本沙漠学会 監事 豊田 裕道

日本沙漠学会 監事 渡邊 文雄



## 2. 2021年度事業計画及び予算（案）

## (1) 2021年度事業計画（案）

## 1) 会務

a. 会員 2021年4月1日現在、会員数は以下の通り。

名誉会員：3名 正会員：208名

学生会員：26名 賛助会員：4社

購読会員：5機関

## b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2021年度総会

2021年5月30日（日）Web会議室にて開催。

(b) 評議員会（第32回）

2021年4月10日（土）Web会議室にて既に開催。

(c) 理事会（第148回）

2021年4月10日（土）Web会議室にて既に開催。他4回の開催。

(d) 総務委員会 適宜開催する。

(e) 財務委員会 適宜開催する。

(f) 編集委員会

学会誌の冊子体の在り方、およびWeb書誌データベースへの掲載について検討する。

(g) 企画委員会 適宜開催する。

(h) 学会賞審査委員会

2021年5月29日（土）、第32回学術大会におけるベストポスター賞の審査を行う。また委員会を適宜開催する。

(i) 学会会員数減少への対策検討委員会 適宜開催する。

(j) 会則等改定委員会 会長の要請により適宜開催する。

## 2) 刊行物

- a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」  
Vol. 31 No. 1 (2021年6月), Vol. 31 No. 2 (2021年9月),  
Vol. 31 No. 3 (2021年12月), Vol. 31 No. 4 (2022年3月)  
※ J-Stage による電子版の公開と年度末の合本号冊子の発行
- b. ニュースレター「おあしす」  
No. 114 (2021年6月), No. 115 (2021年9月),  
No. 116 (2021年12月), No. 117 (2022年3月)  
※ Web サイトでの電子版の公開
- c. 日本沙漠学会講演要旨集  
第32集 (第32回学術大会, 2021年5月29日)  
※ Web サイトでの電子版の公開
- d. Web ニュースレターの適宜発行.
- e. 日本沙漠学会ホームページの適宜更新, 入会案内の更新.

## 3) 講演会の開催

- a. 第32回学術大会  
2021年5月29日(土)~5月30日(日) Web サイトにて開催 (研究発表会・総会・学会賞授与等).
- b. 秋季シンポジウム  
2021年11月にハイブリット方式または、オンライン形式で開催予定.
- c. その他  
適宜ミニシンポジウムを開催.

## 4) 分科会講演会等の活動

- a. 沙漠工学分科会  
2021年12月ごろに第33回沙漠工学分科会講演会を開催予定.  
分科会会員と関連団体組織等との交流 (共同研究等).
- b. 乾燥地農学分科会  
2021年11月に第30回乾燥地農学講演会を開催  
分科会機関誌「CADAL ニュース」第67号をおあしすに掲載
- c. 沙漠誌分科会  
2021年夏 (予定), 新型コロナウイルス感染症の影響により延期されている研究会「フリー&オープンソースソフトウェアを用いたフィールドワークと分析の実践」をオンライン開催する.  
2021年夏 (予定), 沙漠誌分科会シンポジウム「乾燥地・半乾燥地における「系」としての「熱」再考-現在中東における文化と生業への着目から-」を開催する.  
沙漠研究の特集論文として, 2018年10月開催の研究会「サウディアラビア、ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集への投稿を継続。2019年度秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用: サウディアラビア, ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」に関する小特集を企画・投稿.
- d. 風送ダスト研究会

## 5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

- a. Desert Technology XIV (2021年9月7日~9月10日) 開催への協力.
- b. 日本地球惑星科学連合活動への協力.
- c. 地理学連携機構・地理関連学会連合活動への協力.
- d. その他 国内外の講演会等への協力・関係機関との交流及び協力.

## 6) その他本会の目的達成のための事業

必要な事業を随時開催.

## (2) 2021 年度予算 (案)

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	費目	予算額	前年度決算額	対前年度額増減	備考
収入の部	繰越金	6,934,921	5,901,124	-	
	会費	2,074,000	1,820,000	254,000	
	1) 入会金	10,000	9,000	1,000	新規会員10名想定
	2) 正会員費	1,664,000	1,456,000	208,000	正会員数(2021.4.1現在)208名
	3) 学生会員費	130,000	25,000	105,000	学生会員数(2021.4.1現在)26名
	4) 購読会員費	70,000	30,000	40,000	5機関+繰り越し2件
	5) 賛助会員費	200,000	300,000	-100,000	4社
	助成金	0	0	0	
	その他収入	370,000	1,436,903	-1,066,903	
	1) 出版費	360,000	282,000	78,000	原著論文2報・4号
2) その他	10,000	1,154,903	-1,144,903	利息等	
(小計)	2,444,000	3,256,903	-812,903		
合計	9,378,921	9,158,027	220,894		
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合団体年会費
	学会誌発行費	1,025,000	1,360,258	-335,258	
	1) データ作成費	600,000			各号150,000円×4号
	2) 合本発行費	400,000	1,340,350	-340,350	Vol.30(1)-(4)合冊分
	3) 発送費	25,000	19,908	5,092	発送手数料・メール便・郵送料
	活動準備金	805,000	277,360	527,640	
	1) 大会預託金	200,000	52,360	147,640	学術大会開催経費
	2) シンポジウム預託金	100,000	100,000	0	シンポジウム開催経費
	3) 分科会交付金	205,000	125,000	80,000	3分科会
	4) DT14預託金	300,000	0	300,000	
	表彰費	20,000	0	20,000	学術賞表彰状作成
	会議費	12,000	0	12,000	評議員会・理事会経費
	事務運営費	330,000	67,288	262,712	
	1) 通信・郵送費	100,000	29,504	70,496	振込手数料 会費請求等郵送代
	2) 印刷費	50,000	0	50,000	総会・会議資料
	3) 事務費	50,000	16,554	33,446	消耗品費等
	4) 交通費	100,000	0	100,000	
5) 諸雑費	30,000	21,230	8,770	Webサーバー管理費等	
学会業務等外部委託費	508,200	508,200	0		
予備費	50,000	0	50,000		
(小計)	2,760,200	2,223,106	537,094		
次年度繰越金	6,618,721	6,934,921	-316,200		
合計	9,378,921	9,158,027	220,894		

## 3. 学会賞審査報告

該当者なし

## 4. 名誉会員の推挙

牛木 久雄 会員

## 5. その他

学術大会ベストポスター賞【報告】

評議員の欠員による繰り上げ【報告】

## 2020~2022 年度日本沙漠学会役員

会 長	森尾貴広				
副 会 長	鈴木伸治	田中 徹			
監 事	渡邊文雄	豊田裕道			
理 事 (総務担当)	島田沢彦	田島 淳			
(財務担当)	高橋新平	矢沢勇樹			
(編集担当)	川端良子	小島紀徳			
(企画担当)	小長谷有紀	石川祐一			
(学会賞担当)	渡邊三津子	の場泰信			
評 議 員	安部 豊	石川祐一	入江光輝	牛木久雄	川端良子
	北村義信	小島紀徳	児玉香菜子	小長谷有紀	酒井裕司
	真田篤史	篠原 卓	島田沢彦	菅沼秀樹	鈴木伸治
	高橋新平	田島 淳	田中 徹	豊田裕道	縄田浩志
	平田昌弘	藤巻晴行	の場泰信	三木直子	森尾貴広
	森 卓	矢沢勇樹	依田清胤	渡邊文雄	渡邊三津子
顧 問	安部征雄	森 卓			

## 委 員 会 (参考)

総務委員会 (*1 委員長	*2 事務局	W : Webmaster)			
島田沢彦 <sup>*1,W</sup>	田島 淳	真田篤史	篠原 卓	齋藤哲治 <sup>*2</sup>	
財務委員会 (*1 委員長)					
高橋新平 <sup>*1</sup>	矢沢勇樹				
編集委員会 (*1 委員長	*2 名誉委員長	*3 副委員長	*4 事務局)		
川端良子 <sup>*1</sup>	小島紀徳 <sup>*2</sup>	安部征雄 <sup>*2</sup>	酒井裕司 <sup>*3</sup>	Tim Davis	
Richard Harper	安部 豊	石川祐一	石本雄大	石山 隆	
入江光輝	遠藤 仁	川田清和	北村義信	児玉香菜子	
周 建中	菅沼秀樹	高橋新平	地田徹朗	豊田裕道	
縄田浩志	平田昌弘	藤巻晴行	の場泰信	三木直子	
森尾貴広	渡邊三津子	三角誠司 <sup>*4</sup>			
企画委員会 (*1 委員長)					
小長谷有紀 <sup>*1</sup>	石川祐一				
学会賞審査委員会 (*1 委員長	*2 幹事)				
渡邊三津子 <sup>*1</sup>	の場泰信 <sup>*2</sup>	安部 豊	石本雄大		
分科会長 (*1 沙漠工学	*2 乾燥地農学	*3 沙漠誌	*4 風送ダスト)		
田島 淳 <sup>*1</sup>	石川祐一 <sup>*2</sup>	縄田浩志 <sup>*3</sup>	黒崎泰典 <sup>*4</sup>		

## 日本沙漠学会名誉会員

安部征雄                      都留信也                      真木太一

学会事務局

2020～2022 年度

日本沙漠学会事務局は、下記の機関において役割分担しています。用件の内容に応じて担当にご連絡下さい。

【日本沙漠学会事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F 株式会社共立内

TEL：03-3551-9896 FAX：03-3553-2047 Email：jaals@kyouritsu-online.co.jp

【日本沙漠学会総務担当】

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

島田沢彦：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科

TEL：03-5477-2767 FAX：03-5477-2941 E-mail：shima123@nodai.ac.jp

田島 淳：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科

TEL：03-5477-2345 FAX：03-5477-2941 E-mail：tajima@nodai.ac.jp

【日本沙漠学会財務担当】

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

高橋新平：東京農業大学地域環境科学部造園科学科

TEL：03-5477-2424 E-mail：shinpei@nodai.ac.jp

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

矢沢勇樹：千葉工業大学工学部応用化学科

E-mail：yuuki.yazawa@p.chibakoudai.jp

【日本沙漠学会編集委員会】

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

川端良子：東京農工大学農学研究員国際環境農学部門

TEL：042-367-5735 E-mail：yoshikok@cc.tuat.ac.jp

編集事務局：株式会社共立 三角誠司気付

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F

TEL：03-3551-9896 FAX：03-3553-2047 E-mail：jals.editorial@gmail.com

【日本沙漠学会 Web 担当】

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

島田沢彦：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科広域環境情報学研究室

TEL：03-5477-2767 FAX：03-5477-2620 E-mail：shima123@nodai.ac.jp

【日本沙漠学会ホームページアドレス】

<http://www.jaals.net/>

## DT XIV International Conference on Arid Land 開催のお知らせ

COVID-19の影響により延期となった The DT XIV International Conference on Arid Land を 2021 年 9 月 7 日～10 日の日程で Web 開催することになり、6 月 30 日まで発表者の募集を行ったところ、80 件の発表タイトルを受け付けました。

参加申し込み（参加無料）は、以下の Google Forms で 8 月 30 日まで受け付けております。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfVX4Vd13fNK2qa9PqZ3qRgn175dXSMBafqmkcFSEm4zpXegg/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfVX4Vd13fNK2qa9PqZ3qRgn175dXSMBafqmkcFSEm4zpXegg/viewform?usp=sf_link)

### Call for Papers

Submission of abstract: 30 June 2021 (Already Closed)

Title, author name(s) in full spelling with affiliation(s), 300-400 words abstract in English, and name of contact person with e-mail address

**Notification of acceptance:** 15 July 2021

**Early Registration deadline:** 31 July 2021

**Late Registration deadline:** 30 August 2021

[Google Registration Form](#)

Manuscript submission deadline: 7 September 2021

Manuscript: send to [jals.editorial@kyouritsu-online.co.jp](mailto:jals.editorial@kyouritsu-online.co.jp)

The papers presented in the conference will be published in

[The Journal of Arid Land Studies](#) after critical peer review process.

詳細は以下 Web ページにてご確認ください。

<https://dt14ical2020.jimdofree.com/>

International Conference on Arid Land 実行委員会

## 2021 年度学会賞受賞候補者推薦のお願い

日本沙漠学会正会員 各位

日本沙漠学会会長 森尾 貴広  
学会賞審査委員会委員長 渡邊三津子

日本沙漠学会細則第 34 条にもとづき、日本沙漠学会賞（学会賞、学術論文賞、進歩賞、奨励賞の 4 賞）を公募いたします。つきましては、学会賞受賞候補者を下記の要領でご推薦下さいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会学会賞 : 本学会において学術かつ事業活動に顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞 : 「沙漠研究」に掲載された論文により乾燥・半乾燥地に関する学術上の顕著な業績を挙げた会員に授与する。
- (3) 日本沙漠学会進歩賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する技術的、実践的な業績を挙げた会員または会員を含む団体に授与する。
- (4) 日本沙漠学会奨励賞 : 乾燥地・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与する。この場合の受賞者は、原則として当該年度において 35 歳以下の会員とする。なお、35 歳を超えた会員を奨励賞に推薦する場合には、その理由書を添付する。

#### 2. 推薦期限 **2022 年 2 月 26 日（土） 当日消印有効**

#### 3. 推薦方法 以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に郵送して下さい。なお、推薦には「自薦」は含まれません。

- (1) 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞を推薦する場合  
様式 1 の推薦書 1 部  
推薦に関する資料 1 組
- (2) 日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞を推薦する場合  
様式 2 の推薦書 1 部  
推薦に関する業績 1 組

#### 4. 宛先（照会先）

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F  
日本沙漠学会 学会賞審査委員会 幹事 的場泰信  
E-mail : matobaji@icloud.com

#### 5. その他

応募された書類は返却しませんので、必要な場合は写しを保管下さい。

なお、過去の受賞者については日本沙漠学会ホームページ (<http://www.jaals.net/>) をご参照下さい。

## 様式 1

(日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞用) 令和 年 月 日

## 日本沙漠学会学会賞ならびに日本沙漠学会進歩賞推薦書

1. 推薦者 所属：  
氏名： 印  
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：  
氏名： 生年 年 月 日  
住所・電話：  
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

## 様式 2

(日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞用) 令和 年 月 日

## 日本沙漠学会学術論文賞ならびに日本沙漠学会奨励賞推薦書

1. 推薦者 所属：  
氏名： 印  
住所・電話：
2. 被推薦者 所属：  
氏名： 生年 年 月 日  
住所・電話：  
入会年：
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

著者名（共著の場合は全員）、題目、掲載誌名、巻号、頁、発行年を記載すること。

## -----記入上の注意-----

- 1) 書 式 A4 縦置横書き、明朝体 12 ポイント、上下左右マージン 2.0 cm 以上、1 行文字数 35～40 字、1 ページ行数 35～40 行
- 2) 被推薦者 被推薦者が団体の場合は団体名およびその代表者を記入して下さい。
- 3) 推薦理由 箇条書きの場合は約 100 字以内で説明して下さい。  
箇条書きでない場合は全体を 400 字程度で記載して下さい。
- 4) 様式 1 「日本沙漠学会学会賞・日本沙漠学会進歩賞」の場合 5. 資料はコピーなどを添付して下さい。
- 5) 様式 2 「日本沙漠学会学術論文賞・日本沙漠学会奨励賞」の場合 5. 業績リストは研究業績の別刷り（コピー可）を添付して下さい。

## 学会賞審査委員会からのお知らせ 日本沙漠学会若手会員のみなさんへ

学会賞担当理事 渡邊 三津子  
的場 泰信

日本沙漠学会では「奨励賞」「ベストポスター賞」など、若手研究者のみなさんを対象とした賞を設けています。

### 奨励賞

- 乾燥・半乾燥地に関する萌芽的研究業績を挙げた会員に授与されます。  
※ 『沙漠研究』に掲載された論文や研究業績に基づき、学会員の推薦を受けて審査されます。
- 満35歳以下の若手会員を対象としています。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

### ベスト ポスター 賞

- 研究内容、表現や説明技術、熱意などが優れているポスター発表に対して授与されます。
- 学術大会でポスター発表をする満35歳以下の学部生、大学院生と大学院修了・中退後3年未満の会員が対象となります。※ 社会人経験者など「若手相当」とみなされる方は満35歳以上であっても対象となります。

### メリット① 自分の研究について知ってもらえる

受賞者の研究は、学術大会だけでなくホームページなどで紹介されるので自分の研究について多くの人に知ってもらえる機会になります。

### メリット② 履歴書に書ける

「奨励賞」「ベストポスター賞」をもらったら、履歴書の賞罰の欄に書くことができるので、就職活動にも役立ちます。

日本沙漠学会に所属する若手会員の皆さん  
全員にチャンスがあります！

学術大会で発表した人は、ぜひ  
沙漠研究に論文を投稿しましょう！

【問い合わせ先】日本沙漠学会 学会賞審査委員／E-mail：jaals@kyouritsu-online.co.jp

## 学会記事

### 日本沙漠学会第 148 回理事会

日時：2021 年 4 月 10 日（土）13：00～15：00

場所：Web 会議

出席：森尾貴広（会長）、鈴木伸治、田中徹（以上、副会長）、渡邊文雄、豊田裕道（以上、監事）、矢沢勇樹、高橋新平、川端良子、小島紀徳、石川祐一、渡邊三津子、的場泰信、田島淳、島田沢彦（以上、理事）、安部征雄、森卓（以上、顧問）  
酒井裕司（副編集委員長）、真田篤史、篠原卓（以上、総務委員）、縄田浩志（以上、分科会会長）、齋藤哲治（事務局）

委任状：小長谷有紀

議題：

#### I. 審議事項

##### 1. 2021 年度総会への提出議案について

- ・資料に基づき、以下の議題について審議し、承認した。
    - ① 2020 年度活動報告（島田総務担当理事より報告）
    - ② 2020 年度決算報告（矢沢財務担当理事より報告）
    - ③ 2020 年度会計監査（渡邊監事より報告）
    - ④ 2021 年度活動計画（島田総務担当理事より報告）
    - ⑤ 2021 年度予算（高橋財務担当理事より報告）
  - ・2020 年度収入の部「その他収入」の決算額が大きいのは、第 31 回学術大会オンライン実施による預託金の返金と、DT13 特別号印刷の立て替え分の返済が主な理由であることが説明された。
  - ・会議を Zoom で開催することが増えたため、2021 年度より会議費として Zoom 契約費用を予算立てする。
  - ・会費の納入者数が 129 名となっているが、過年度納入者もあり、実際には 187 名（会員数の 9 割）が納入していることが説明された。
  - ・学会誌「沙漠研究」は、オンライン版を年 4 回、印刷物（4 回分合本）を年 1 回発刊する。
  - ・DT14 の発表は査読付き論文として「沙漠研究」に掲載する。なお、DT14 に関するデータ作成、印刷費などの予算は DT 内ですでに予算立てしており、沙漠学会内での費用負担はないことが説明された。
  - ・総会資料について、審議の結果承認され、評議員会で報告することとなった。
- ##### 2. 2020 年度学会賞の審査結果
- ・学会賞審査委員会委員長の渡邊理事から、該当者なしとの報告があり、承認された。
  - ・学会賞のうち奨励賞だけでも贈呈できるよう、まずは委員会内で案を検討し、今後の理事会で議論する。

3. 第 32 回 Web 学術大会と 2021 年度総会の開催について

- ・第 32 回学術大会はオンラインで開催する。
- ・若手研究者向けのショートプレゼンテーションを設け、Web 懇親会も開催予定であることが報告された。
- ・公開シンポジウムは開催しないことが報告された。
- ・「発表者記載オーダー」について、登壇者の記載の順番について審議され、登壇者が先頭でなくても良いことが確認された。
- ・総会欠席者からは委任状を提出してもらおうが、
- ・学術大会の参加申し込みフォームにおいて、総会の委任状も提出してもらおう。出席予定者も、当日の Web 環境次第で急遽欠席となる可能性があることから、委任状を提出してもらい、当日出席を確認したら委任状を削除する。

##### 4. その他

- ・名誉会員の推薦が 1 件あり、理事会のメール審議により賛成多数で承認されたため、総会で審議されることとなった。

#### II. 報告事項

1. 評議員の欠員による繰上げについて
  - ・白石雅美評議員から退会および評議員辞任の申し出があった。会則に則り、次点の北村義信会員を繰り上げ当選とした。本人の承諾も得た。
2. 名誉会員の推薦
  - ・理事会において牛木久雄会員を名誉会員として推薦することが承認され、本人の承諾も得たため、総会で審議することとなった。
3. 第 32 回学術大会実行委員会
  - ・学術大会の実施スケジュールについて、報告された。
4. Desert Technology XIV (9/7-10)
  - ・発表の申し込みは 4 月 30 日締め切り予定だが、6 月 30 日まで延期予定である。
5. 投稿論文審査状況報告
  - ・投稿論文審査状況、沙漠研究 31 巻 1 号までの編集の進捗状況について報告があった。
  - ・新規編集委員として地田徹朗会員が就任したことが報告された。
6. 共同利用・共同研究拠点認定要望の協力（筑波大学地中海・北アフリカ研究センター）
  - ・筑波大学地中海・北アフリカ研究センターが共同利用・共同研究拠点として認定されるための要望書を、会長名で提出したことが報告された。

7. 第12回 地理学連携機構, 地理関連学会連合, 人文・経済地理関連学会協議会 合同総会 (3/27)
  - ・ 標記の3団体について統合する案も出ているが, 各団体の所属研究者へのサポートが希薄となることを懸念し, 現時点では統合しない方向であることが報告された.
8. 地理学連合運営会議報告 (2/17)
  - ・ 2021年度第2回の運営委員会について議事内容が報告された.
9. おあしす
  - ・ 30巻4号の編集状況について報告された.

### Ⅲ. その他

- ・ 日本写真測量学会と日本写真測量学会で, 「沙漠学辞典」の書評が掲載されることが報告された.
- ・ 「砂漠考」の書評が, おあしす30巻4号に掲載されることが報告された.

#### 日本沙漠学会第149回理事会

日 時: 2021年5月29日 (土) 12:00~13:00

会 場: Web会議

出 席: 森尾貴広 (会長), 鈴木伸治, 田中徹 (以上, 副会長), 渡邊文雄, 豊田裕道 (以上, 監事), 矢沢勇樹, 川端良子, 小島紀徳, 小長谷有紀, 石川祐一, 渡邊三津子, 的場泰信, 田島淳, 島田沢彦 (以上, 理事), 安部征雄, 森卓 (以上, 顧問), 酒井裕司 (以上, 編集委員), 真田篤史 (以上, 総務委員), 齋藤哲治 (事務局), 星野仏方, 入江光輝 (オブザーバー)

#### 理事会議題:

##### I. 報告事項

1. 第32回学術大会および総会について
    - ・ 学術大会および総会を以下のスケジュールで行うことが報告された.
- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 5月29日 10時~11時30分 | ポスタープレゼンテーション |
| 13時30分~16時25分    | 口頭発表          |
| 16時40分~18時       | 研究懇談会         |
| 5月30日 10時~12時    | 総会            |
- ・ 口頭発表終了後, ポスター発表賞の発表と講評, DT14と第33回学術大会, 明日の総会についてアナウンスを行う.
  - ・ 研究懇談会はブレイクアウトルームで開催する.

##### II. 審議事項

1. 2021年度総会について

- ・ 総会の議事内容, 進行方法について確認が行われた.
  1. 2020年度事業報告・決算報告・会計監査報告
  2. 2021年度事業計画 (案)・予算 (案)
  3. 学会賞審査報告
  4. 名誉会員の推薦
  5. その他
    - ・ 第33回学術大会ベストポスター賞
    - ・ 評議員の欠員による繰り上げ
- ・ 新規編集委員として, 石本雄大会員が就任したことが報告された.
- 2. 今後の学術大会開催地について
  - ・ 2022年度は帯広畜産大, 2023年度は宮崎大で開催予定であることが確認された.
- 3. その他
  - ・ 第150回理事会は, 2021年7月17日 (土) 14:00~16:00にZoomで開催予定である.

#### 日本沙漠学会令和3年評議員会

日 時: 2021年4月10日 (土) 15:00~16:30

会 場: Web会議

出 席: 森尾貴広 (会長), 鈴木伸治, 田中徹 (以上, 副会長), 渡邊文雄, 豊田裕道 (以上, 監事), 矢沢勇樹, 高橋新平, 川端良子, 小島紀徳, 石川祐一, 渡邊三津子, 的場泰信, 田島淳, 島田沢彦 (以上, 理事), 安部豊, 入江光輝, 牛木久雄, 酒井裕司, 菅沼秀樹, 縄田浩志, 藤巻晴行, 三木直子, 森卓, 依田清胤 (以上, 評議員), 安部征雄 (以上, 顧問), 真田篤史, 篠原卓 (以上, 総務委員), 齋藤哲治 (事務局)

委任状: 北村義信, 平田昌弘, 児玉香菜子

#### 評議員会議題 (定数の1/3で成立)

##### I. 審議事項

1. 2021年度総会への提出議案について
  - ・ 以下の総会議案について各担当理事から説明があり, 審議の結果承認された.
    - ① 2020年度活動報告
    - ② 2020年度決算報告
    - ③ 2020年度会計監査
    - ④ 2021年度活動計画
    - ⑤ 2021年度予算
  - ・ 財務担当理事から, 各分科会のための交付金を予算立てしてあるため, 積極的に使用していただくよう依頼があった.
  - ・ オンラインでの会計監査は, Zoom画面上に通帳等の画像を表示することで, 滞りなく行われたことが報告された.

・秋季シンポジウムの開催方法は、現時点では Web 開催となっているが、対面の可能性も残しつつ今後の状況を確認しながら決定する。

## II. 報告事項

### 1. 学会賞の審査結果

・学会賞審査委員会委員長から、該当者なしとの報告があった。

・学会賞のうち奨励賞だけでも贈呈できるよう、まずは委員会内で案を検討し、今後の理事会で議論する。

### 2. 第 32 回 Web 学術大会と 2021 年度総会の開催について

・第 32 回学術大会はオンラインで開催する。

・若手研究者向けのショートプレゼンテーションを設け、Web 懇親会も開催予定であることが報告された。

・公開シンポジウムは開催しないことが報告された。

### 3. 評議員の欠員による繰上げについて

・白石雅美評議員から退会および評議員辞任の申し出があった。会則に則り、次点の北村義信会員を繰り上げ当選とした。北村会員の承諾も得た。

### 4. 名誉会員の推薦

・理事会において牛木久雄会員を名誉会員として推薦することが承認され、本人の承諾も得たため、総会で審議することとなった。

### 5. 第 32 回学術大会実行委員会 (1/25・3/15)

### 6. Desert Technology XIV (9/7-10)

・発表の申し込みは 4 月 30 日締め切り予定だが、6 月 30 日まで延期予定である。

### 7. おあしす 30 (4)

・編集状況について報告された。

## \* \* \* \* \* 会 員 動 向 \* \* \* \* \*

### ●新入会員

正会員

デニスパストリー ルバンガ (ID: 1154)

学生会員

橋本 裕紀 (ID: 1152, 東京農業大学)

佐藤 拓己 (ID: 1153, 東京農業大学)

毛利 奈知子 (ID: 1155, 一橋大学)

### ●退会会員

正会員

高山 晴夫

小嶋 隆治

## \*\*\*\*\* 賛助会員・団体会員名簿 \*\*\*\*\*

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel: 042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel: 03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	136-0071	東京都江東区亀戸 1-42-20	Tel: 03-6892-3401
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel: 0424-95-1060

\*\*\*\*\*